良悦 議員 腰山

と商工業者に支援を

質問 オ -ムに助成する考え 事業用建物のリ

> 可能となるか、 を対象とするか、

慎重に検討しなるか、財政面が

た

助成

空白期間が生

もが

では、 ている。 ており、 延べ面積の2分の1以上の延べ面積が建物全体の 外壁については としていないが 宅部分の工事を対象とし であることを要件に、 のリフォームは住宅部 答弁(町長) 店舗など併用 店舗部 対象とし 分は対象 現行制度 屋根や 部分宅 住 の助成要望を受け予算化円、20%のプレミアム分ためとして発行額5千万ためとして発行額5千万 い。考慮し、 券につ を取り巻く環境が依然と 工会から町内の商工業者ム商品券については、商 を。 な支援と補助金の

ない。 がる施策を積極的に行う 商工業者の活性化につな 増額の要請を行う考えは町側から商工会に対して よう指導している。 地域消費の拡大や、 この事業が商

工業者の売り上げにつな

は、

っているかというと、

脚丁

若者の定住化も思うよう に進んでいない現状であ り、「わが町、長寿の町」 になっていない。今まで 以上に長生きできる環境 を整備することが必要で は。 の問 少子化、

る。を整えようと考えて

ではない

質問 地方公務員 特費の取り扱いは、 付税が減額され、ま 付税が減額され、ま がるが。

されて また地 され

答弁(町長) 町の総合 を対(町長) 町の総合 を対くり対策の推進や医 まづくり対策の推進や医 まづくり対策の推進や医 をがこぼれるやすらぎのま がこぼれるやすらぎのま できた。 支援等の充実に取り 介護を受けた 組育高んで齢

鉄也 議員

り病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間を出来るだけ長くできるよう、健康増進計画や食育推進計画の推進とともに、地計画の推進とともに、地計画の推進とともに、地計画の推進とともに、地方の充実を図りながら、その充実を図りながら、それまで以上に健康であるく、長生きできる環境るく、長生きできる環境を整えようと考えてい

砂田周市町村別長寿ランセンガ

	男			女						
	順位	市町村	平均寿命	順位	市町村	平均寿命				
	1	秋田市	78.5	1	井川町	85.9				
	2	大潟村	78.1	2	北秋田市	85.7				
	3	八郎潟町	77.9	3	大潟村	85.7				
	16	八峰町	76.9	25	八峰町	84.2				

ı									
	男			女					
	順位	市町村	平均寿命	順位	市町村	平均寿命			
	1	秋田市	78.5	1	井川町	85.9			
	2	大潟村	78.1	2	北秋田市	85.7			
	3	八郎潟町	77.9	3	大潟村	85.7			
Ţ									
	16	八峰町	76.9	25	八峰町	84.2			

ではない。もう小その判断は必ずし を理解して、 ら指導をしては。 もう少し実態 団体に町か しもそう

る。 いたい。 てこの事業を継続してい 工会からの要望に沿っては刺激策の一つとして商 「有効である」と判断 答弁(町長) 商工業者はこの事業 町として L

プレミア

援と補助金の増額ついてもっと積極的 プレミアム商品

雪道の暴風雪時 の安全対策は

オフィス、店舗等、事業用建物につい

ては

店舗等、

途

が様々であり、

どこまで

のか。大雪や暴風雪時のの要望はどうなっている設置計画と各自治会から 道路パトロースのか。大雪や見 今後の交通安全確保のた道路パトロールの現状と 政協力員会議の要望で答弁(町長) 昨年の行 めの対応は。 今後の防雪柵の

議論された結果であり、 をした。商工会内で十分



ルと除雪をしている。まは24時間体制でパトロー実施している。強風雪時時の夜間のパトロールを 2峰浜の業者と契約して道路パトロールは八森職して計画的に進める。 っては現地を十分調査 要請があれば県が 地権者や自治会と協 ることになってお 国道回号の浜 整備にあ 支

区などがある。 おと

援す 冬期 今後も県と連絡し の町道の安全 •

心を確保してい

防雪柵を必要としている所には 早急に対応して欲しい

員の 給

与給

の対策に万全を期すべきる方など大きな負担を抱る方など大きな負担を抱るることとなる。これられば、高齢者、交通手段れば、高齢者、交通手段の無い方、往診されている方など大きな負担を抱める。

質にはいる。

は、まだ確保され一町営医科診療所

る。

公務員制度の在り方を

どう考えているのか

町営医科診療所は

今後どうなるのか

医師会の協力を得て進め 答弁(町長) 能代山本

策を講ずるつもりなのか。じた場合、どのような対